

第88回福島県中央メーデー

4月29日（祝・土）あづま総合運動公園

社会全体の問題に目を向けた外向きの労働運動が重要！

～あづま総合運動公園に約2,400名が結集～



主催者挨拶・今泉裕実行委員長

第88回福島県中央メーデーは4月29日（祝）、暖かい春の陽気の中、あづま総合運動公園に連合福島並びに労福協傘下の組合員など、約2400名の仲間が結集して開催された。主催者を代表し、今泉裕実行委員長は「メーデーの意義、戦後からの労働組合の闘いの歴史を振り返り、先人が築き上げてきた労働運動を私たちが継承していくことが必要である。また、子どもの貧困、奨学金問題、非正規問題などの社会全体の問題に目を向け、内向きから外向きの活動に一步踏み込むことをお願いしたい。そして、震災から7年目を迎え内堀県政を支えながら、みなさんの心をひとつに復興を前進させていこう！」と挨拶をした。



来賓挨拶・内堀雅雄福島県知事

その後、内堀雅雄福島県知事、金子恵美民進党県連代表代行、紺野長人社民党県連代表の来賓の皆様からお祝いの言葉を頂戴し、メーデー宣言の採択、決議文の手交を行った後に、式典の最後を今泉実行委員長の力強いガンバラロー三唱で締めくくった。式典終了後、引き続きアピールコンテストの表彰式が行われ、UAゼンセン日東紡労働組合がそのアピール度を評価され見事、最優秀賞に輝いた。さらに、豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、当選された方々が満面の笑みで喜びを表現していた。イベントでは、福島県で活躍しているシンガー



メーデー宣言を手交する
今泉実行委員長と内堀知事

ソングライターのMANAMIさんの素晴らしい歌声のライブから始まり、昨年に引き続き福島大学のチアダンスサークルの元気なパフォーマンス、仮面ライダーの握手会、「ペンギンナッツ」のお笑いライブなど、大いに盛り上がりを見せた。また、ふあふあ遊具やミニ鉄道、地元の農産物販売、授産施設作品展即販売会などの多くの店が出店し、気候も手伝って大盛況のメーデーとなった。



参加者全員でガンバラロー三唱



式典に参加された構成組織の皆さん